

まとめて情報発信することで、単独では難しい充実したプロモーションを展開

irodori合同会社（佐賀県唐津市）

カテゴリー
B-1(4)
B-2(4)

取組の背景・課題 - コロナの影響をECやふるさと納税でカバーしたいという経営者の新しい挑戦を後押ししようと考えた

- ・当社は、佐賀県唐津市の魅力を全国に発信すべく2017年に設立。ネットショップ「IRODORI からつ」の運営、唐津の観光情報の発信等に取り組んでいる。
- ・地元の青年会議所に所属する事業経営の仲間の多くがコロナで売上を落としていた。売上減少をカバーすべく、ふるさと納税やECサイトに取り組もうとするが、「手が回らない」「パッケージデザインが苦手」「ノウハウや資金的に難しい」といった声が多かった。
- ・過去に広告代理店で勤務した自身のノウハウを活かしつつ、皆で資源を持ち寄れば「皆が笑顔になるような仕事」が実現できるのではないかと考えていた。

アクション B-1(4)、B-2(4) 外部資源の活用、外部との連携

まとめて情報発信することで、全体のコンテンツを充実し、更新頻度もアップ

- ・海産物、ハンバーグ、焼き物から、最近では振り袖や寄植え等、唐津の幅広い商品を取り扱っている。当社がまとめ役となって、商品、生産者の顔、生産工程等を発信。特にInstagramは頻繁に更新するようにしている。
- ・一見すると商品の関連性がなくターゲットが絞れていないように見えるが、当社の顧客は「唐津」をキーワードに「皆が笑顔になるような仕事」に共感してくれた人たちだと考えている。そうした顧客にとっては、バラエティーに富んだ内容が頻繁に更新されることが重要。当社のターゲットには響いていると考えている。
- ・最近、「梅干しの製造工程を見たい」という顧客の声が寄せられ、今後、ホームページやSNSで情報発信して行く予定。梅干しの生産者が一から準備すると大変だが、当社ですでに製造工程の情報発信をしたノウハウがある。そうした当社のノウハウを共通のプラットフォームとして活用し、地域でまとめて情報発信することでコンテンツの充実化が図れている。

一体となったプロモーションには他にどういうものがあるのか？

- ・取扱商品のひとつである「ふぐ」は、定期的に東京の築地市場まで運ばれている。そのトラックの側面を利用させてもらい、唐津の商品を並べたラッピングを施した。「見た」という反応をくれた人もおり、話題性は高かったように思う。
- ・他にも、ポストカードやアニメの聖地巡礼とのコラボ企画、保険営業のちょっとしたお土産品としての採用等、場面場面に最適な商品を組み合わせで情報発信している。
- ・各事業者の強みを少しずつ持ち寄ることで、補助金等には頼らず持続的な取組を行っていきたいと考えている。

取組効果

- ・一体として情報発信することで、多様なコンテンツを高頻度で発信。



(画像) 同社提供



(画像) Instagramより



irodori からつ 四季の返礼品 で検索Q



Instagramで更新中!!
フォローお願いします

(画像)
同社提供

〔左上〕トラックのラッピング

〔右上〕ポストカード
(表面、裏面)

〔左〕Instagramでの情報発信

irodori合同会社

<http://irodori-karatsu.com/>

所在地：佐賀県唐津市 従業員数：3名（2022年1月現在）

【公表日：2022年3月14日】

※ この事例集は、企業への取材を元に九州経済産業局消費経済課が作成しています。取材や資料提供等については当該企業から協力を得ていますが、記事の内容・表現等は九州経済産業局の編集によるものです。なお、この事例集は消費者とのコミュニケーションにより成長を図る企業の取組事例を紹介することを目的としています。掲載されている商品・サービス等について、九州経済産業局として推奨したり、その内容を保証することを目的としていません。